

## いざ、国政へ！

そこから勇躍、外交・安全保障を中心に国政に邁進しました。初当選から6年後に悲願の政権交代を実現し、民主党政権では防衛大臣政務官、外交・安全保障担当の内閣総理大臣補佐官、防衛副大臣を歴任させていただき、国際政治の最前線で国益を背負って戦う得難い経験をさせていただきました。

しかし、その後、再び下野した民主党は、党名を民進党に替えたり、共産党と連携して安全保障法制の成立を妨害したり、自らの政治信条とどんどんかけ離れて行きました。とはいえ、お世話になった先輩や同僚の元を去るのは耐え難い。さりとして、このまま自らの政治理念や政策に反して議席にしがみつ়くことも忍び難い。それとも、もはや政治家を辞めるべきか・・・。

## 自民党で再出発を決意

悩みに悩み抜いた末に、もう一度政治家として一から出直す覚悟で、20年育てていただいた選挙区を返上して自民党に入党し、国民のための政策実現に専心しようと決断するに至りました。幸い、安倍総理や麻生副総理、菅官房長官、二階幹事長はじめ、初当選同期の萩生田光一さんや加藤勝信さんらが温かく迎えてくれて、何とか新たな選挙区で再スタートを切ることができました。

しかし、そこは、かつて上司だった菅直人元総理が40年以上も地盤を築いてきた選挙区で、途方に暮れるような日々を耐え抜くこととなりました。それでも、地元の方々に励ましていただき、コロナ禍に阻まれながらも“とことんコツコツ”活動を重ね、令和3年(2021年)の衆院総選挙で何とか7期目の当選を果たすことができました。

## すべては、「未来に誇れる日本」のために

まだまだ自民党議員一年生ですから、慣れないことや勉強すべきことが山積していますが、政府与党の一員として、政策実現の醍醐味を日々噛み締めながら、お蔭さまで充実した政治活動を積み重ねてくることができました。

現在は、とくに「外交・安全保障」と「こどもの未来保障」を中心に取り組んでおります。戦後最悪の国際環境の中で日本の生存と繁栄を確保するためには、研ぎ澄まされた安全保障戦略が必要です。

これまでの経験と人脈を生かして最善を尽くします。また、出生数80万人を切った上に、せっかく生まれてきたこども達が、虐待や貧困、自殺などで尊い命を落とす事件が後を絶ちません。

こども子育て家庭を国と地域が一体となって支える仕組みを全国につくり上げます。さらに、最近盛んに取り沙汰される安易な増税論に対しても、デフレからの完全脱却をめざして徹底的に戦ってまいります。

衆議院議員 **長島昭久** 氏



41歳でついに衆議院に初当選！



2012年の第三次改造内閣で防衛副大臣に就任



恒例の朝駅頭でこども達とハイタッチ

